

最後の庭の息子たち (2003)

LOS HIJOS DEL ULTIMO JARDIN

メディア 映画

ジャンル ドラマ 青春

製作国 ボリビア

色彩 Color

時間 97分

初公開日 2005/06/17

公開情報 シネマテーク・インディアス

【キャッチコピー】

ボリビアは、いつだって、世界を熱くする。

【解説】

アンデスの先住民農民の世界を描き続けてきたボリビアの映像製作集団“ウカマウ集団”のホルヘ・サンヒネス監督が、グローバル経済の浸透で変わることが余儀なくされたボリビア社会の現実を踏まえ、初めて都会の青年たちの姿を描いた社会派ドラマ。社会的問題意識を持ちながらも、抛るべき道を見出せない青年と、対照的に享乐的な生き方に走る青年、それぞれの苦悩と葛藤を描き出す。

多国籍企業によってボリビアの水資源や天然ガスは奪われようとしていた。政府高官の汚職が取り沙汰される中、中産階級に育った青年フェルナンドも、貧しい人々の窮状に心を痛め、社会的不正義に怒りを燃やす。ところが左翼運動が弱体化した今日、フェルナンドの怒りの受け皿となるような組織も運動も存在しなかった。そこで彼は、自分とは対照的に快楽主義に興じるサッカー仲間の若者たちと、この問題について語り合う。彼は仲間を募り、汚職で蓄財した議員の家に押し入り、盗んだ大金を貧しい先住民の村へ届けようとするのだが…。

【クレジット】

監督	ホルヘ・サンヒネス	Jorge Sanjines
製作	ベアトリス・パラシオス	Beatriz Palacios
脚本	ホルヘ・サンヒネス	Jorge Sanjines
撮影監督	セサル・ペレス	Cesar Perez
音楽	オスカル・ガルシア	
出演	ビクトル・サリナス	
	アレハンドロ・サラテ	
	ヘンリー・ウンスエッタ	
	カルロス・メンドサ	
	ルイス・ボリーバル	
	ファティマ・サンチェス	
	アナ・アリスクリナガ	
	ネストル・ペレード	